



秋田県総合教育センター

# 総合教育センターだより

第99号

平成19年 3月30日

発行 編集委員会



## 平成18年度公開講座！

秋田県総合教育センターで行う研修講座の中から、その講座の受講者以外の教育関係者の方々にも、優れた英知に直接触れる場を提供することを目的に開設しています。広く県民の方々も聴講することができます(事前の申込が必要)。講座そのものの内容やポイントは、何よりも聴講した方々の声物語っています。11月に今年度最後、第3回目の公開講座が行われました。毎年ほぼ同じような時期に開講しています。自己研修のひとつとして、いかがでしょうか？



第1回 平成18年6月12日(月)12:45~14:15

### 「キャリアカウンセリングの理解」

講師 上越教育大学 生徒指導総合講座 助教授 三村隆男氏

・キャリア教育は小学校には関係ないと思っていたが、無縁でないことがわかった。

・高校1年生100人中59人が、その後10年間で退学、離職、進路未決定等を経験すると聞いて驚いた。

・自分が担当した児童生徒が今どうしているのか大変考えさせられる講演であった。



第2回 平成18年10月27日(金)12:45~15:00

### 「心を育てる生徒指導」

講師 東京学芸大学 教育実践研究支援センター 教授 小林正幸氏

・実際の現場で生かせそうなヒントをたくさん教えていただいた。

・被害者をサポートするスタンスを忘れないようにしたい。

・いじめの解決につながる取り組みは何かを考えさせられた。

・遊びの質の変化の説明が大変参考になった。

第3回 平成18年11月 2日(木)14:30~16:00

### 「学校における教育の論理と公共性」

講師 国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部長 小松郁夫氏

・教育費が県や国の予算の中で占める割合を聞き驚いた。

・外からの声に安易に影響されることなく教師としての確固たるビジョンが必要だと思った。

・学校経営にかかわる多くの問題点がよくわかった。



(講師の皆様、遠いところほんとうにありがとうございました。)

## 教育相談・電話相談について

秋田県総合教育センターは、教育相談機関としての業務も行っています。子どもの不登校やいじめ、発達など、気がかりなときや困ったときの相談に応じています。

### <センターに直接出向いての相談>

#### ●来所相談

○相談者のご都合をうかがって日時を決め、相談を行っています。



### <センターにお出でになれない場合の相談>

#### ●電話での相談(すこやか電話相談)

○電話番号 0120-37-7804(フリーダイヤル) <月~土曜日>  
018-873-7206 <月~金曜日>

○月曜日~金曜日 午前8時30分~午後5時

○土曜日 午前9時~午後5時(受付は午後4時30分まで)

土曜日は実施日と実施しない日があります。事前に確認してね！

#### ●メール相談

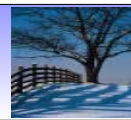
○アドレス soudan@akita-c.ed.jp

メールはすぐに返事・返信が届かない場合もあるので、少し待っててくださいね。





# 11・12月の総合教育センター



## 中学校初任者研修講座

A講座 11/15

2回目の模擬授業です。お互いが教師役、生徒役になり、それぞれの立場から授業の良い方向を探ります。この日も2～3教科ごとのグループで行いましたが、英語の模擬授業に、秋田西高等学校の英語科の先生方が研修・応援に来てくださいました。



(最初は研修・・・という感じでしたが生徒役になってもらいました)



(もう、役割を忘れて夢中です！)

## 美術の授業に映像メディアをどう生かすか

C講座 11/16・17

美術教師として「映像メディア」の技術的な能力が身につくように、多面的なアプローチが組み込まれた講座内容が設定されています。



(講師の原点はこれ！)

2年連続で受講させていただきましたが、今年も新鮮な気持ちで参加できました。

この2日間大きな刺激をいただきました。

基本的・専門的な内容で、やってみてほしいと思わせて頂き意欲が湧きました。来年も受講したいと思いました。



(こーんなことができます！)

自分が作ったものに少し感動しました。

## 教科「情報」の学習指導の充実

B講座 11/28

教科「情報」における学習指導の充実・改善等について実践事例をもとに研修しました。CD-Rに記録された受講者の授業ビデオを見ながらの協議は効果的で内容を深めることに役立ちました。



(情報機器の進歩で様々なことができるようになりました)

- ・自分の授業改善に役立つ内容が満載であった。
- ・コンピュータを使わない情報の授業がためになった。
- ・自校、他校の課題や授業における工夫を共有、検討する時間が十分確保されており、今後の向上につながる有意義な研修であった。

## プラネタリウム教室と星のコンサート

12/26・27

冬休みに入ってからすぐの2日間、「プラネタリウム教室」が開催されました。冬の星座のお話と星空についての番組などを使って学習しました。また、研修員有志による「星のコンサート」も行われ、素晴らしいハーモニーと演奏を披露していただきました。

約130名の方々が冬の星と音楽の世界を楽しみました。



(ゲートが星の世界への入口)

・冬休み初日に設定していただきよかったです。

・5年生の子は学校で学習したことをプラネタリウムで視覚的に復習できて満足していたようです。



(この機械の中に星がいるの？)

・星のコンサート、センターの先生方は多才だなあーと感心！すばらしいコンサートでした。先生方の雰囲気がとてもあたたかかったです。



・初めてでしたが孫と一緒に楽しめました。

・以前から子どもがとても楽しみにしていました。



・星のコンサートは大人の方でも楽しく、素敵でした。

(＊演奏していた私たちも楽しかったんですよ)

(クラリネットとピアノのデュエット)

(子どもたちも演奏しました) →

・子どもたちも参加できる場所がいいですね！

←(ハンドベルです)

(最後は皆さんとご一緒に合唱を！)

・コンサートがアットホーム的で楽しかったです。

(皆様のご協力で楽しいコンサートに！ありがとうございました)